立川ターミナル整備計画(第1期) (たたき台)

2019 (平成 31) 年 2 月

立川市交通結節推進協議会

立川ターミナル整備計画整備計画(第1期)

目 次

第1章 整備計画について1
I. 目的1
Ⅱ. 対象範囲1
Ⅲ. 実施する施策2
第2章 各施策の実施内容とスケジュール
I. 案内サインの改善3
1. 案内サインの改善3
2. ナンバリングサインと EV サインの活用5
3. 整備手順とスケジュール7
Ⅱ. バリアフリーの推進s
1. エスカレーターの設置
2. 視覚障害者誘導用ブロックの整備10
Ⅲ. サービスの向上11
1. 配布用マップの作成11
2 . バス案内の充実12

第1章 整備計画について

I. 目的

基本ルール (案)を踏まえ、優先的に整備する事項を選定し、実施する整備内容や時期及び役割分担等を明確にし、それらの内容を関係者間で共有することを目的とする。

Ⅱ. 対象範囲

JR立川駅、多摩モノレール立川北駅、立川南駅から南北のバスのりば、タクシーのりば を結ぶ経路及び利用者動線の中心となっているペデストリアンデッキを含む範囲を主対象 とする。

また、東京 2020 大会を始めとする観光客等への対応等を勘案し、交通結節点を中心としたエリアを優先的に整備を進める範囲とし、整備計画(案)第1期の対象範囲とする。



Ⅲ. 実施する施策

整備計画(案)第1期においては、下記の項目を実施する。

項目	施策				
案内サインの改善	・案内サインの整備→第1期整備の対象ルートのサイン整備・ナンバリングサインの活用→デッキと地上部を繋ぐ上下移動施設へのナンバリング表記				
バリアフリーの推進	・エスカレーターの設置 ・視覚障害者誘導用ブロックの改善				
サービスの向上	・ターミナル共通の配布用マップの作成 ・バス案内の改善				

[※]各施策については、設置時に現地等の状況に応じて変更する可能性があります。

第2章 各施策の実施内容

- I. 案内サインの改善
 - 1. 案内サインの整備 サイン計画を踏まえて案内サイン整備を、原則、各管理者が実施する。

《サイン計画》

・サインの配置、表示内容については、サイン計画を定める

○サインの配置イメージ



○サインレイアウトイメージ

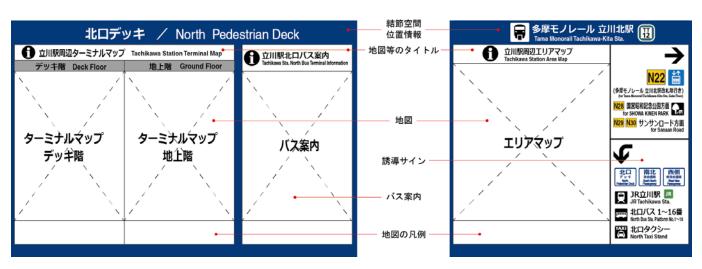
《誘導サイン》



《位置サイン/結節空間等》



《地図サイン》



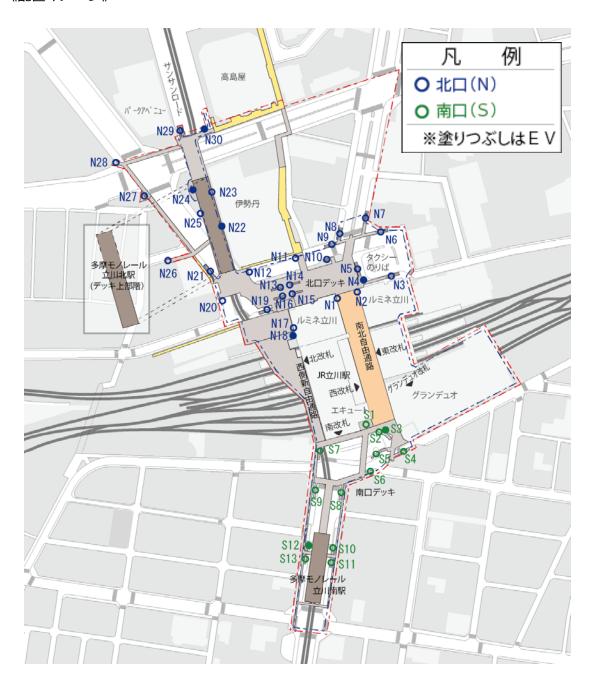
2. ナンバリング(上下移動)サイン・EV サインの整備

案内サインの整備と連携して、ナンバリングサイン及び EV サインの整備を、原則、各管理者が実施する。

《基本的な考え方》

- ・ナンバリングサインは混乱しないよう複数のパターンを使用せず、シンプルなデザインを採用
- ・ナンバリングサインは、壁面等への設置(目線の位置)を基本とし、必要に応じて路面等に設置
- ・ナンバリングサインは、原則、デッキ上及び地上部に同デザインで設置
- ・歩行者等が視認できる位置に EV (ピクト) 表示を行い、階数情報を記載したサインの設置
- ・EV サインは現在地が判断しやすいデザインとし、原則、EV 正面の目線の位置に設置

《配置イメージ》



○サインレイアウトイメージ

《位置サイン/ナンバリング》



《エレベーターサイン》

【正面上段/機能+ナンバリング】



【正面中段/階数情報】



○サインの掲出イメージ





3. 整備手順およびスケジュール

利用者の案内に支障が生じないよう、各管理者が調整の上、整備を実施する。

《整備手順の基本的な考え方》

- ・主要動線となる「デッキ部」を優先的に整備
- ・サインの連続性を確保するため、交通施設を結ぶルート上は可能な限り同時期に整備
- ・サイン整備後に、可能な限り短期間でナンバリングサインを整備
- ・原則として、ターミナル全体で調整された整備手順にあわせて整備



エリア別スケジュール

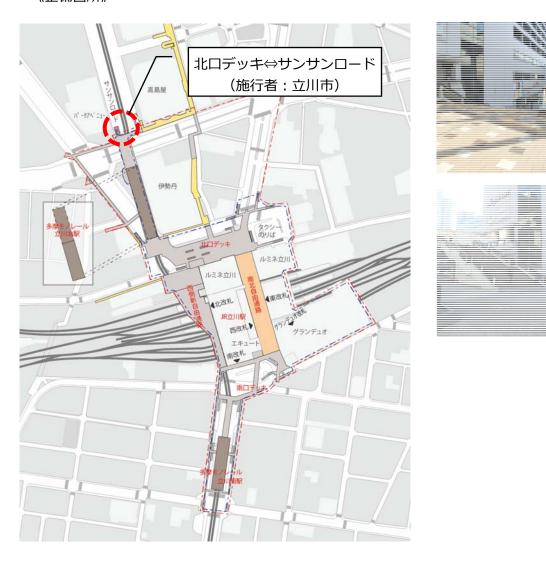
			2019(平)	成 31)年度			2020(平成 32)年度		
エリア	施行者	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月
	立川市	I							
北口デッキ	JR 東日本								
	多摩モノレール								\longrightarrow
南口デッキ	立川市	1							
主 业点中200	立川市	1							
南北自由通路	JR 東日本	1							
ᅲᄱᆄᄼᄼᅩᆉᄝᅝ	立川市	ı							
西側新自由通路	JR 東日本	1							
地上部	立川市								
ナンバリング E Vサイン	立川市								
	JR 東日本								
	多摩モノレール								

Ⅱ. バリアフリーの推進

1. エスカレーターの整備

利用者の増加やデッキ空間と地上部の回遊性の向上を図るため、エスカレーターを整備する。

《整備箇所》



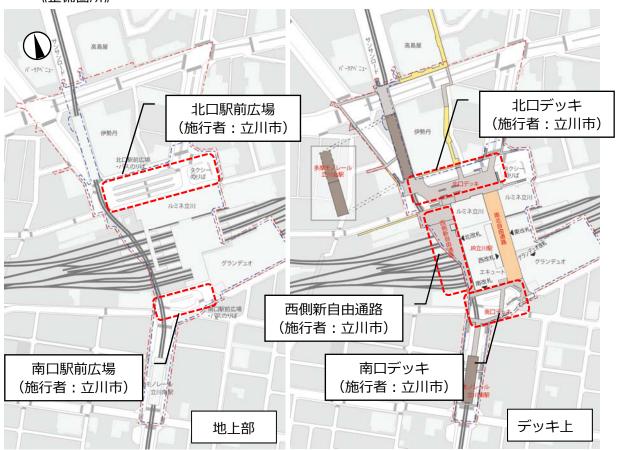
《整備スケジュール》

	2019 年度	2020 年度
北口デッキ⇔サンサンロード		

2. 視覚障害者誘導用ブロックの整備

案内サインの整備による主要ルート及びサイン配置の変更に伴い、視覚障害者用誘導ブロックの見直しを行う。

《整備箇所》



《整備スケジュール》

正備パックユール								
2019 年度	2020 年度							
	2019 年度							

※「Ⅰ. 案内サインの整備」の進捗状況にあわせて整備

※その他、路面補修にあわせて整備

Ⅲ. サービスの向上

1. 配布用マップの作成

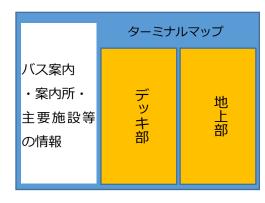
地図サインとの整合性を図ったマップを作成し、案内所等で配布する。

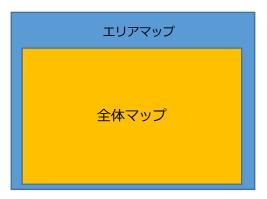
※案内サイン及びナンバリング・EV サインの第1期整備完了時にあわせて配布予定

◆配布マップの仕様と掲載イメージ

大	₹	t	A 3 両面	形	式	縦4つ折り
表		面	ターミナルマップ・バス案内	裏	面	エリアマップ
言		語	日本語・英語	地図の	の向き	北上

(表面) (裏面)





◆マップ更新イメージ

・地図サインの地図と同様に、定期的な更新(2~3年に1回程度)を事務局が行い、最新 の情報を各事業者に提供する。

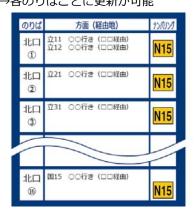
2. バス案内の充実

- ・起点となる場所及び各バスのりばの分岐点に案内サイン計画と連携してバス案内を設置 します。
- ・第1期整備のバス案内については、頻繁な更新に対応できるようケースタイプとし、バス事業者が定期的な更新を行う。その際に、表示面が設置時と異なるような表現となる 修正(ケース上部からの貼り付け等)は行わないものとする。
- ・更新については、バス事業者間でルールを定めてそのルールをもとに定期的な更新を行 う。
- ・表示内容については、設置場所(起点や分岐点等)及び表示面(大きさ)の状況を踏ま え、バス事業者間で調整を行い作成します。

◆バス案内サインの表示面の作成イメージ

・各のりば番号で更新可能なレイアウトと する。ただし、表示面については、統一 したデザイン(書体、色彩、表示内容等) で作成する。

《バス案内サインイメージ》 →各のりばごとに更新が可能



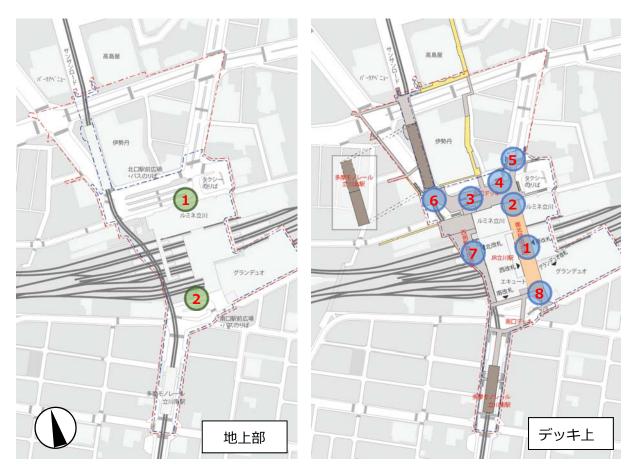
◆バス案内サインの更新イメージ

- ・路線変更等で修正が必要になった場合は、各のりば番号(路線等)に該当する事業者 が更新を行う。
- ・更新で、部分的な貼り替えを行う際は、現状の表示面と合わせる(同じ仕様とする) など、全体になじむように行う。
- ・劣化や退色等により、判読性、視認性等の確保が困難な場合は、事業者間で調整を行い、必要に応じて全体の更新を行う。

《整備スケジュール》

	2019 年度	2020 年度					
バス案内 表示面作成							

《整備箇所》



◆バス関連サインの表示内容とサイズ

場所	ΝO	サイズ (単位mm) (W:幅×H:高さ)	表示内容イメージ	仕様	面数	サイン配置(サイン計画)
	1	750×1000	南北バスのりば総合案内/主要施設へのりば案内	ケース	2	南北自由通路 6
	2	750×900	北口バスのりば案内【全体】	ケース	1	北口デッキ3
デッキ上	3	650×700	北口各バスのりば案内【1-3/4-5/6-7/8-9】	ケース	2×4	北口デッキ 13
	4	900×380	北口各バスのりば案内【10-13】	ケース	1	北口デッキ8
	5	600×400	北口各バスのりば案内【14-16】	ケース	1	北口デッキ7
	6	700×1000	北口バスのりば案内【全体】	ケース	1	北口デッキ 15
	7	750×1000	南北バスのりば総合案内	ケース	1	西側新自由通路 2
	8	750×900	南口バスのりば案内【全体】	ケース	1	南口デッキ 1
地上	1	750×1000	北口バスのりば案内【全体】	ケース	1	地上部 1
上部	2	750×1000	南口バスのりば案内【全体】	ケース	1	地上部 2